当社グループの基盤ともなる「働きやすい明るい会社」の実現に向けた中期経営計画「しくみ・130」は、前半3年（2022年度~2024年度）を1stステージ、後半2年（2025年度～2026年度）を2ndステージとしています。

2ndステージのスタートにあたり、当社グループの持続的な価値創造に向けた取り組みとして理念体系を整備し、理念ポスターも刷新しました（図1）。

本特集では、当社グループが持続的に価値を創造しつづけるための取り組みについて紹介します。

図1 新理念ポスター

取り組みⅠ

ニチアスグループの新理念体系

今回制定した新理念体系は、「企業理念（ニチアス理念）」「スローガン」「私たちの約束」「サステナビリティ方針」となります（表1）。

「企業理念」は、当社グループの存在意義・使命を表すものです。

「スローガン」は、企業理念を簡潔に表現したものであり、言い換えると合言葉になります。

「私たちの約束」は、当社グループ従業員としての心構えと行動の原則を示し、人材のあり方を表したものです。同時に、従業員は会社だけでなく社会（ステークホルダー）ともコミットする必要があり、その点も網羅した４つの約束となっています。

「サステナビリティ方針」は、当社グループの持続的成長と持続可能な社会の実現を目指すことを目的に今回制定し、各種方針や宣言などを包括する受け皿としています。

図2はこれら理念体系と中期経営計画の位置づけを表した体系図で、当社グループの従業員を一つのファミリーとして捉え、一つ屋根の下に集うイメージを「家」で表しています。

ファミリーの存在意義・使命である「企業理念」を家の上段に掲げ、下段はその理念の実現に向け従事する従業員の志である「私たちの約束」としています（❶）。

家の庭先には「中期経営計画」のシンボルである「しくみの木」が育ち（❷）、家の基礎と「しくみの木」を支える土壌が企業風土・文化となる「働きやすい明るい会社」となります（❸）。

「スローガン」は、ニチアス全体を照らしつづけるものとして太陽で表現し（❹）、サステナビリティ方針は、それらすべてを包み込む「心地よい空気」として表しています（❺）。

これら理念体系のもと、当社グループと社会が永続する明るい未来を、従業員とともに築いていきます。

表1 新理念体系

企業理念（ニチアス理念）	私たちは「断つ・保つ」の技術で地球の明るい未来に貢献します
スローガン	「断つ・保つ」で明るい未来へ
私たちの約束	●仲間とともに、社会に役立つ価値を提供します ●社会の一員であることを自覚し、責任ある行動を取ります ●「ありがとう」と「笑顔」があふれる信頼の輪を築きます ●スキルや知識を高め、従業員と会社がともに成長します
サステナビリティ方針	ニチアスグループは企業理念の実践を通してグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現を目指します

図2 新理念体系図

取り組みⅡ

中期経営計画2ndステージの取り組みと数値目標について

中期経営計画1stステージでは、「収益性の向上」と「事業の選択と集中」に重点を置いて効率的な事業戦略と投資の有効配分を進めました。2024年度のNPI（ニチアス業績指数）は、各項目概ね順調な結果でした（表2）。

2ndステージでは、新理念体系構築につづいて、人材やAI（人工知能）・DX（デジタルトランスフォーメーション）などへの新たな投資の強化、NPIを含めたグループ目標計画の見直しを図り、活動を加速させていきます。

中期経営計画 しくみ 130

2022～2026年度の5年間での達成すべき経営戦略

中期経営計画中に重点的に取り組む内容、今後の展望

2ndステージにおけるNPIを含む「しくみの木」については、従来の課題は踏襲するものの、各目標値の引き上げや、追加項目を新たに設定しました（図3）。

「収益性の向上」においては、新基幹システムの導入構築費用を考慮したうえで、営業利益率の目標を18%に引き上げます。

「事業の選択と集中」については、事業の効率性を評価するしくみとして、事業別ROICを用いた管理、運用を進めます。

「効率的運営」においては、総実労働時間の順守とともに、会議時間の削減や、デジタルを活用した効率化の推進とその効果を検証します。

「環境対応」では、温室効果ガスの排出削減を戦略的に進め、CDP認証でのA格評価の取得を目指します。

「基盤強化」については、指標を不休災害も評価対象に含めた全度数率に改めます。

これらNPIの目標の見直し以外にも、2ndステージでは、人事制度改革や生産性向上を目的とした組織体制の見直し、NKK（ニチアス改善活動）のテーマ拡大、新基幹システムの運用開始、本社ビルでの来客向けショールームの新設、中央研究所構築構想など、新たな活動を始動します。今後の当社グループにご期待ください。

表2 NPI（ニチアス業績指数）他グループ数値目標と実績

項目			NPI	2024年度実績	2026年度目標値 2ndステージ
収益性の向上	売上高	（億円）		2,565	**2,750**
	海外売上高	（億円）		530	**580**
	営業利益率	（%）	○	15.5	**17.3(18.0※1)**
事業の選択と集中	設備投資額	（億円）	○	68	通常投資総額 **240※2** 戦略投資枠 **290※2**
	ROE	（%）		15.5	**≧15.0**
	ROIC	（%）	○	12.2	**14.0**
	EBITDA	（億円）		474	**550**
効率的運営	総実労働時間順守率	（%）	○	99.5	**100**
	総実労働時間(全社平均)	（時間）		1,921	**–**
環境対応	GHG排出量※3	（万t-CO_2eq）	○	18.0	**17.0**
	産業廃棄物排出量※3	（千t）		18.0	**17.1**
基盤強化	労働災害全度数率（国内製造）	—	○	2.4	**2.0**
	労働災害全度数率（海外製造）	—	○	1.9	**1.5**
	労働災害全度数率（基幹工事）	—	○	1.0	**0.5**
	労働災害全度数率（建材工事）	—	○	0	**2.0**
	重大クレーム発生件数	（件数）	○	3	**0**

※1：新基幹システム関連経費を含まない場合の値　※2：2年総額　※3：当社グループ製造事業所（海外を含む）

図3 しくみの木

New NPI（2025年度～）

取り組みⅢ

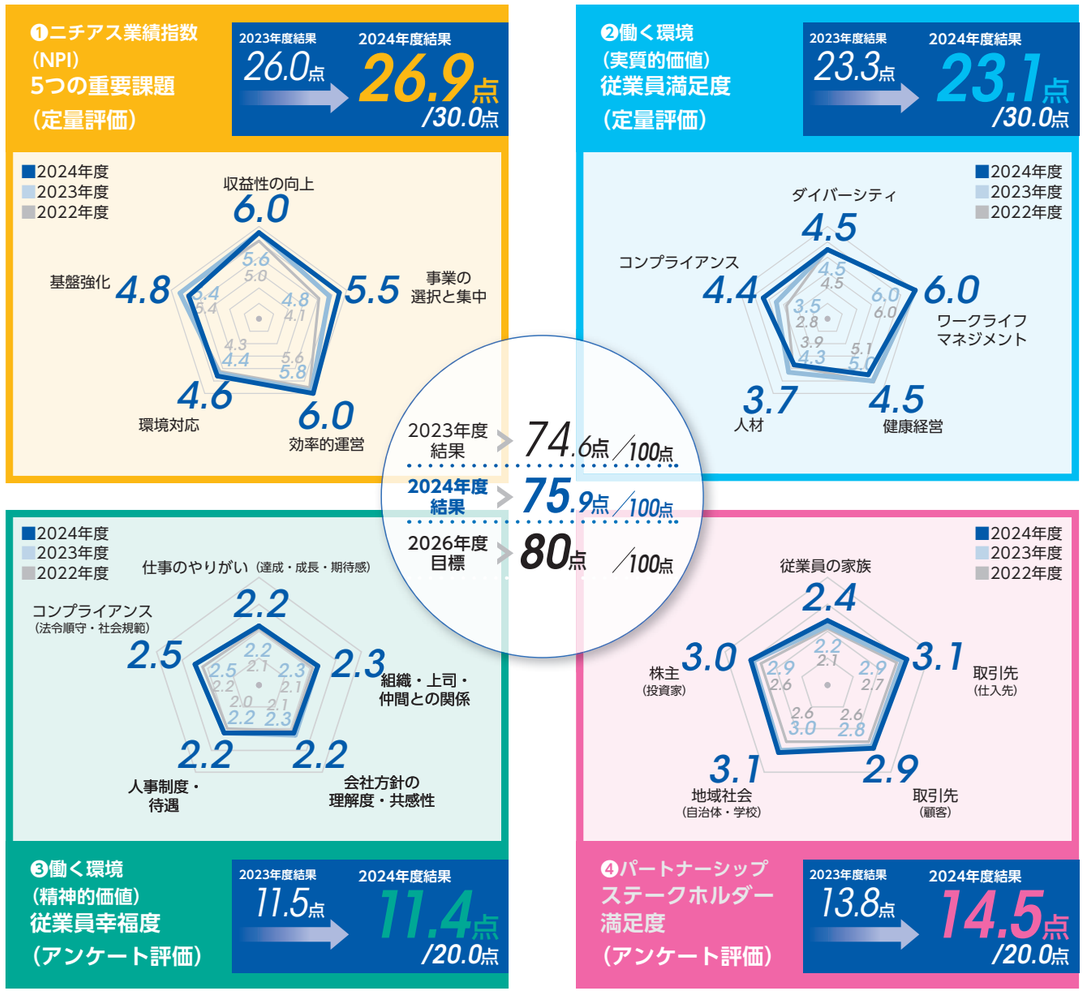
2024年度ニチアス幸せ価値指数の結果と向上施策

当社グループでは、「働きやすい明るい会社」の実現度を評価する通信簿として、「ニチアス幸せ価値指数」の評価を2022年度から進めています。

「ニチアス幸せ価値指数」は❶**ニチアス業績指数(NPI)**、❷**従業員満足度**、❸**従業員幸福度**、❹**ステークホルダー満足度**の４つの評価要素から成り立っています。

詳細は図4の通りで、2026年度に100点満点中80.0点獲得を目標に進め、2024年度は75.9点の結果となりました。

図4 2024年度ニチアス幸せ価値指数



2024年度の結果を踏まえた指数向上への取り組み

2024年度の結果では、❶ニチアス業績指数(NPI)および❹ステークホルダー満足度の点数について全体的に向上が見られましたが、❷従業員満足度の「人材」および「健康経営」、❸従業員幸福度の「会社方針の理解度・共感性」の項目の点数には低下が見られました。

これらの指標を向上させるべく、2025年度は、人材戦略における求める人物像の策定、ウォーキングチャレンジなど健康増進に向けたイベントの充実、新理念体系の周知活動の展開などの具体的な施策を進めています。

また、従業員の家族の満足度向上を意識した福利厚生サービスの加入などの充実も図っています。

今後も「ニチアス幸せ価値指数」の点数向上を目指し、さまざまな施策を行い、「働きやすい明るい会社」を実現させてまいります。

取り組みⅣ

サステナビリティ推進活動

サステナビリティ推進体制

当社グループのサステナビリティを考えるうえでは、環境の「Environment」、社会・人事の「Social」、統治の「Governance」、そしてそれらをつなぐデジタルの「Digital」と、全体を包括する全社戦略の「Strategy」の5つの要素を大切にしており、これらの頭文字を取ってESGD'sとしています(図5)。

当社グループのサステナビリティ推進委員会では、前述の５つの要素(サステナビリティ全体)に関する大きな方針や課題を設定しています。その方針や課題を受け、傘下である環境部会、社会・人事部会、(コーポレート)ガバナンス部会、デジタル部会、ストラテジー部会の5つの専門部会が、各種方針や具体的な戦略や課題を設定し、活動を行っています(図6)。

図5 ニチアスグループESGD's

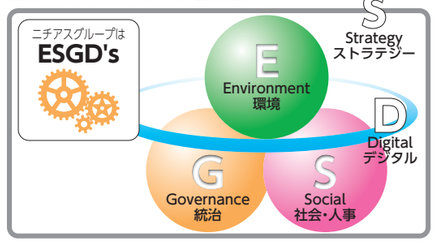
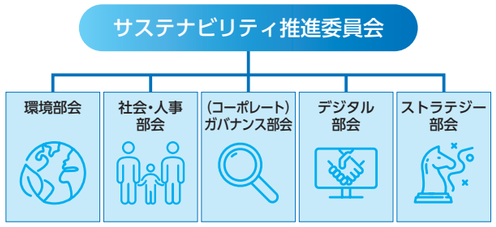


図6 サステナビリティ推進委員会



サステナビリティ方針の制定

当社グループの持続的成長と持続可能な社会の実現を目指すため、2025年4月に「サステナビリティ方針」を制定しました。この方針は、各種方針や宣言の受け皿となる上位概念の方針でもあり、2024年から活動を開始しているサステナビリティ推進委員会の活動方針ともなります。「働きやすい明るい会社」を実現するためには、サステナビリティ推進委員会の活動の成果が非常に重要となります。

サステナビリティ方針　ニチアスグループは企業理念の実践を通して
グループの持続的な成長と持続可能な社会の実現を目指します

サステナビリティに関する活動

2024年度の主な各部会の活動内容・検討課題は表3の通りです。

環境部会では気候変動対策をはじめとした環境関連の認証を取得しました。社会・人事部会では「求める人物像」の策定検討など人材戦略の策定を行いました。

また、(コーポレート)ガバナンス部会では、国内外グループ会社の規程整備やBCPの拡充などを図りました。デジタル部会では、ニチアスグループ情報セキュリティ基本方針の制定やデジタル投資委員会を発足させました。ストラテジー部会では、サステナビリティ方針制定を含む理念体系の再構築やマテリアリティの精査・特定を行いました。

2025年度は、これらの活動をさらにブラッシュアップし、特に人材に関わる方針策定を含めた、従業員のエンゲージメント向上施策に対して積極的に取り組みます。

これらの活動により、当社グループと社会が持続的に繁栄できる礎を築いてまいります。

表3　2024年度各部会活動内容

環境部会	■ 環境関連の認証取得・情報開示と自然資本対応準備 ■ 環境配慮型製品の定義・評価しくみ構築
社会・人事部会	■ 人材戦略における求める人物像の策定検討、育成・採用方針の策定 ■ 働き方多様性の検討
(コーポレート)ガバナンス部会	■ 国内外グループ会社の規程整備 ■ BCP対策の拡充
デジタル部会	■ デジタル方針の制定 ■ デジタル投資委員会の発足
ストラテジー部会	■ 理念体系の再構築、サステナビリティ方針制定 ■ マテリアリティの精査・特定